

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-196249

(P2013-196249A)

(43) 公開日 平成25年9月30日(2013.9.30)

| (51) Int.Cl.                | F I            | テーマコード (参考) |
|-----------------------------|----------------|-------------|
| <b>G06Q 50/04 (2012.01)</b> | G06F 17/60 106 |             |
| <b>G06Q 50/10 (2012.01)</b> | G06F 17/60 124 |             |
| <b>G06F 3/12 (2006.01)</b>  | G06F 3/12 D    |             |
|                             | G06F 3/12 W    |             |

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 18 頁)

|           |                            |          |                     |
|-----------|----------------------------|----------|---------------------|
| (21) 出願番号 | 特願2012-61441 (P2012-61441) | (71) 出願人 | 000006747           |
| (22) 出願日  | 平成24年3月19日 (2012.3.19)     |          | 株式会社リコー             |
|           |                            |          | 東京都大田区中馬込1丁目3番6号    |
|           |                            | (74) 代理人 | 100084250           |
|           |                            |          | 弁理士 丸山 隆夫           |
|           |                            | (72) 発明者 | 梶本 大輔               |
|           |                            |          | 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 |
|           |                            |          | 会社リコー内              |

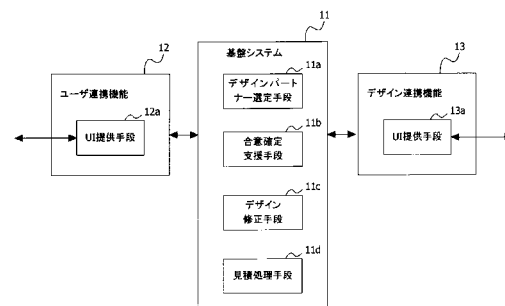
(54) 【発明の名称】 印刷物作成支援装置、方法及びプログラム

(57) 【要約】

【課題】クライアントとデザイナーとが段階的に合意を形成しながらクライアントが納得のいくデザインの印刷物を得ることが可能な印刷物作成支援装置を提供する。

【解決手段】選定したデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援手段11bと、見積合意後にクライアントから受信した、制作物概要情報よりも詳細な要件が定義された制作物詳細情報に基づいて制作されたデザインに対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正手段11cと、校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける印刷データベース16と、を有する。

【選択図】 図3



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定手段と、

選定された 1 のデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援手段と、

見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正手段と、

校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける印刷データベースと、

を有することを特徴とする印刷物作成支援装置。

## 【請求項 2】

クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報、及び、前記制作物の詳細な要件を定義した見積情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定手段と、

選定したデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼を送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援手段と、

見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正手段と、

校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける印刷データベースと、

を有することを特徴とする印刷物作成支援装置。

## 【請求項 3】

前記デザインパートナー選定手段は、選定するデザインパートナーの候補を複数選び、前記候補の中からクライアントにより選択された候補を、選定するデザインパートナーとすることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の印刷物作成支援装置。

## 【請求項 4】

コンピュータシステムによる印刷物作成支援方法であって、

クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定工程と、

選定された 1 のデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援工程と、

見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正工程と、

校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける工程と、

を含むことを特徴とする印刷物作成支援方法。

## 【請求項 5】

コンピュータシステムに、

10

20

30

40

50

クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定処理と、

選定された1のデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援処理と、

見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正処理と、

校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける処理と、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、印刷物作成支援装置、方法及びプログラムに関し、特に、デザインから印刷出力に至る印刷物の作成を支援する装置に関する。

【背景技術】

【0002】

近時、クラウドコンピューティングという概念が提唱されており、そのコンセプトには、ネットワークの向こう側の仮想空間上にあるサービスやコンピュータ資源を、ユーザが必要な分だけ利用するという新しい利用形態が含まれていると考えられる。

【0003】

ところで、コンピュータを利用した出版や商業印刷の技術分野においては、ライター、フォトグラファー、編集者らが作成した原稿を、デザイナーと呼ばれる職種の者が加工・デザインして仕上げるという工程がある。マスに向けた出版や商業的な利用に堪えうる品質を維持するためには、各工程において専門的な技術や知識が必要であるため、このような専門分化が行われている。

【0004】

しかしながら、中小企業や資力に乏しい個人が上記のようないわゆる「プロ仕様のドキュメント」を作成するには、プロフェッショナル人材や企業とのマッチングが簡単ではない。コンピュータを利用した出版や商業印刷の技術分野になじみがない中小企業や個人が利用しやすい「プロ仕様のドキュメント」を作成するための仲介システムの提供が必要である。

【0005】

利用者の企業規模が大きい場合であっても、限定されたカスタマーに向けた少数数の配布を目的とした印刷であった場合、コストに見合った価格で提供することが難しいため、印刷業者が印刷を請け負いたがらないのが実情である。

【0006】

特許文献1では、ユーザが入力したデータに基づいて複数のデザイナーによるデザインのコンペティションを行い、その提示された結果の中からユーザが1つのデザインを選択することでデザイナーが選択され、当該デザイン及びデザイナーを採用するシステムが開示されている。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

しかしながら、上記従来技術には、以下に示すような問題点がある。

【0008】

あるデザインを決定するときに、依頼者であるクライアントがデザイン作成に必要な情

10

20

30

40

50

報を熟知し、デザイナーが必要とする情報をすべて把握している場合であればよいが、一般的にはクライアント自身はデザイン作成に関するリテラシーが高くない場合がほとんどであり、デザイナーがデザインを作成するために十分な情報が得られない場合が予想される。そのようなクライアントが入力した初期情報に基づいてデザイン・コンペティションを行ったとすると、クライアントの希望するデザインが全く得られず、さらにはデザイナーは作成した意義が失われるといった、クライアント及びデザイナー双方に不利益が生ずる場合が考えられる。

#### 【0009】

上述のような不利益の発生を防ぐためには、完成されたデザインの中からクライアントが一つを選ぶというようなスキームではなく、クライアントとデザイナーが見積もりとラフデザインにより受発注の合意を行う段階を経てからデザイン制作のやりとりを進めていくスキームを、仲介するシステムが提供する必要がある。

10

#### 【0010】

また、従来は、デザインという明瞭でない情報をどのように制作側に伝えるかが困難であった。デザインという捉え方次第でイメージが変化するという制作物の特性上、依頼者の意図とデザイン制作側の捉え方の溝が埋まりづらいため、一度に情報を入力させてしまうと、依頼者側の意図通りに行かないことがしばしば発生する。従来技術であるようなコンペティション方式も、その不安定要素を数で補っているだけで、ある1つの制作者側は始めに入力された条件に従って制作しているだけであり、依頼者側の意向に沿うものかどうかは、選ばれて初めて分かるというものであった。

20

#### 【0011】

本発明によって、コミュニケーションを段階化し、不安定性を排除して、デザインという受け取り方によって変わりうる情報を、依頼者であるクライアントから制作側であるデザイナーへ、より精度よく伝えることを実現する。コミュニケーションの段階化においては、現時点（各段階）にて必要とする情報が制作側に提示されることで、ブレをなくす。また、デザイン制作に必要な情報の深度を段階的に深くして、複数回クライアントに入力させることにより、従来ではマッチさせることが難しかったデザインの希望の、クライアントからデザイナーへの伝達を容易にする。

#### 【0012】

また、上述したようなデザイン制作の成果として得られたデザイン結果を、印刷物として出力するための連携についても、従来技術においては検討がなされていなかった。

30

#### 【0013】

本発明は、上記実情に鑑みてなされたものであって、クライアントとデザイナーとが段階的に合意を形成しながらクライアントが納得のいくデザインの印刷物を得ることが可能な印刷物作成支援装置を提供することを目的とする。

#### 【課題を解決するための手段】

#### 【0014】

上記目的を達成するために、本発明は、第1の態様として、クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定手段と、選定された1のデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援手段と、見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正手段と、校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける印刷データベースと、を有することを特徴とする印刷物作成支援装置を提供する。

40

#### 【0015】

50

また、上記目的を達成するために、本発明は、第2の態様として、ユクライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報、及び、前記制作物の詳細な要件を定義した見積情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定手段と、選定したデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼を送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援手段と、見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正手段と、校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける印刷データベースと、を有することを特徴とする印刷物作成支援装置を提供する。

10

#### 【0016】

また、上記目的を達成するために、本発明は、第3の態様として、コンピュータシステムによる印刷物作成支援方法であって、クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定工程と、選定された1のデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援工程と、見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正工程と、校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける工程と、を含むことを特徴とする印刷物作成支援方法を提供する。

20

#### 【0017】

また、上記目的を達成するために、本発明は、第4の態様として、コンピュータシステムに、クライアントにより入力されたクライアントが所望する制作物の情報に基づいて、複数のデザインパートナーからデザイン制作を行うデザインパートナーを選定するデザインパートナー選定処理と、選定された1のデザインパートナーに対して前記制作物の要件を定義した制作物概要情報を見積依頼とともに送信し、前記デザインパートナーからの返信に対する見積合意可否情報をクライアントから受信して、見積に対する合意を確定させる合意確定支援処理と、見積合意後にクライアントから受信した、前記制作物概要情報より詳細な要件を定義した制作物詳細情報に基づいて制作されたデザイン情報に対するクライアントの修正指示及び前記デザインパートナーの修正反映を同期的に実行するデザイン修正処理と、校了済みのデザイン情報に係る電子データを記憶しておき、クライアントからの印刷要求に応じて外部の印刷システムから前記電子データのダウンロード要求を受け付ける処理と、を実行させることを特徴とするプログラムを提供する。

30

40

#### 【発明の効果】

#### 【0018】

本発明によれば、クライアントとデザイナーとが段階的に合意を形成しながらクライアントが納得のいくデザインの印刷物を得ることが可能な印刷物作成支援装置を提供することが可能となる。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0019】

【図1】本発明の実施形態のネットワーク概略構成図（その1）である。

【図2】本発明の実施形態のネットワーク概略構成図（その2）である。

【図3】本発明の実施形態の機能構成図である。

50

【図４】本発明の実施形態の情報処理の流れを示す図（その１）である。

【図５】本発明の実施形態の情報処理の流れを示す図（その２）である。

【図６】本発明の実施形態の情報処理の流れを示す図（その３）である。

【図７】本発明の実施形態における依頼情報（又は制作物情報）入力画面の例である。

【図８】本発明の実施形態における見積依頼の内容確認画面の例である。

【図９】本発明の実施形態における見積確認画面の例である。

【図１０】本発明の実施形態における選択結果確認画面の例である。

【図１１】本発明の実施形態におけるリアルタイム・コミュニケーション・サポート画面の例である。

【発明を実施するための形態】

10

【００２０】

以下、本発明を実施するための形態について図面を参照して説明する。

【００２１】

[システム構成]

図１に、インフラストラクチャレイヤの観点から見た本実施形態のネットワーク概略構成を示す。図１に示すように、本実施形態に係るクラウドプリンティングシステム１００は、利用者であるクライアントと、クライアントの顧客等との間に介在し、印刷物を媒体としたクライアントと顧客とのコミュニケーションをサポート・支援するコンピュータシステムである。また、印刷物を顧客の手元に届けるまでの間に、デザインパートナーやプリントパートナーといったプロフェッショナル人材や機材の利用も支援する。

20

【００２２】

クラウドプリンティングシステム１００は、特に、クライアントによるデザインパートナーの選定を支援する。そのために、システム内部に、少なくとも、ウェブサーバ１０１とパートナー選定サーバ１０２を有する。パートナー選定サーバ１０２は、デザインパートナーに関する情報がデータベース化されたストレージにアクセスする。また、デザインパートナーの選定や選定後の印刷物の保管に用いるためのストレージにもアクセス可能である。

【００２３】

図１に示したインフラストラクチャは、クラウドプリンティングシステム１００をウェブアプリケーションとして実施した場合の例である。ウェブサーバとアプリケーションサーバを用いずに、以下で開示するような本実施形態の各機能を実現してもよい。

30

【００２４】

図２に、アプリケーションレイヤの観点から見た本実施形態のネットワーク概略構成を示す。アプリケーションレイヤ、すなわち、機能構成の観点から、図１のクライアントとデザインパートナー並びにデザインパートナーと印刷パートナーとの関わりに絞って本システムを見ると、本システムは、クライアントとデザイナー、デザイナーと印刷業者との間をつなぐセンタシステム１０として認識される。

【００２５】

センタシステム１０は、クラウドプリンティングシステム１００のクライアントとデザインパートナー、デザインパートナーと印刷パートナーとの間を接続するシステムであって、印刷物作成支援システムとして機能する。センタシステム１０の各機能は、１台以上の汎用のコンピュータによる情報処理によって実現される。センタシステム１０は、機能として、基盤システム１１とユーザ連携機能１２とデザイン連携機能１３とを有するように構成される。

40

【００２６】

基盤システム１１は、クラウドプリンティングシステム１００内に存在する各種データベースに接続し情報の入出力を行う。そのようなデータベースとしては、ユーザデータベース１４、デザイナーデータベース１５、印刷データベース１６がある。

【００２７】

ユーザデータベース１４は、クラウドプリンティングシステム１００の利用者であって

50

、デザイナーに発注を行う発注者であるクライアントの情報が記憶されている。デザイナーデータベース15は、クラウドプリンティングシステム100に登録を行ったデザイナーであるデザインパートナーの情報が記憶されている。

#### 【0028】

印刷データベース16は、デザインパートナーによってデザインされた印刷物の電子データが記憶されているストレージである。後述するクライアントとデザインパートナーとのやりとりの中で制作されたデザイン情報が電子データとして記憶されており、これら電子データは許可された印刷パートナーがアクセス可能である。当該デザイン情報は校了が終わっており、ファイル形式等に対応していることなどいくつかの条件を満たす印刷パートナーであれば、物理的空間的な位置に依存せず、どこかの印刷パートナーであっても印刷出力することができる。

10

#### 【0029】

印刷データベース16において、校了済みのデザイン情報の電子データは、各クライアントごとに割り当てられた「MY BOX」と呼ばれる記憶領域に記憶される。MY BOXには、クライアントとデザイン請負契約を正式な受発注手続きを経て結んだデザインパートナーが、校了済みのデザイン情報の電子データをアップロードできる。また、クライアントと印刷出力の請負契約を結んだ印刷パートナーが、校了済みのデザイン情報の電子データを各自の印刷システム21にダウンロードすることができる。印刷データベース16は、外部の印刷システム21から前記電子データのダウンロード要求を受け付ける機能を有する。

20

#### 【0030】

センタシステム10には、クライアント又はデザイナーが各々、ネットワークを介してクライアントデバイス20により接続する。クライアントデバイス20としては、典型的にはパーソナルコンピュータが利用できるが、いわゆるスマートフォンやタッチパッドで操作するスレート状のスマートデバイスなども利用できる。クライアントデバイス20uは、クライアントが使用するクライアントデバイス20である。同様に、デザイナーAが使用するクライアントデバイス20をクライアントデバイス20aと呼び、デザイナーBが使用するクライアントデバイス20をクライアントデバイス20bと呼び、デザイナーCが使用するクライアントデバイス20をクライアントデバイス20cと呼ぶ。

30

#### 【0031】

ユーザ連携機能12は、クライアントデバイス20uにユーザインタフェース及び同ユーザインタフェースに表示する情報を出力し、同ユーザインタフェースに基づいて入力された情報をセンタシステム10に入力する機能を備える。デザイン連携機能13は、クライアントデバイス20a, b, cにユーザインタフェース及び同ユーザインタフェースに表示する情報を出力し、同ユーザインタフェースに基づいて入力された情報をセンタシステム10に入力する機能を備える。

#### 【0032】

なお、ユーザ連携機能12とデザイン連携機能13が入出力する情報を媒介する具体的実施例としては、電子メールを用いてもよい。

#### 【0033】

40

印刷システム21は、各印刷業者が印刷出力の際に利用するプリンタ画像形成装置を含むコンピュータシステムである。印刷システム21は、印刷データベース16にアクセス可能なインターフェイスを有する。また、印刷データベース16に記憶されている電子データをダウンロードして印刷出力する機能を有する。

#### 【0034】

基盤システム11は、ユーザ連携機能12とデザイン連携機能13により入出力された情報と、各種データベースにアクセスして入出力した情報とに基づいて情報処理を行う。そのような情報処理には少なくとも、クライアントとデザインパートナーとのマッチング（デザインパートナーの選定処理）が含まれる。

#### 【0035】

50

図 3 に、基盤システム 1 1 とユーザ連携機能 1 2 とデザイン連携機能 1 3 によって提供される機能の構成を示す。図 3 に示すように、ユーザ連携機能 1 2 とデザイン連携機能 1 3 は、各々ユーザインターフェイス提供手段 (1 2 a, 1 3 a) を有し、基盤システム 1 1 は、デザインパートナー選定手段 1 1 a と、合意確定支援手段 1 1 b と、デザイン修正手段 1 1 c と、見積処理手段 1 1 d を有する。

#### 【0036】

図 3 に示す各機能は、以下で説明するような情報処理を行うことによって、デザインパートナーの選定、並びに、印刷との連携を実現する。

#### 【0037】

[情報処理]

以下、センタシステム 1 0 による情報処理の流れについて説明する。本実施形態においては、(1) デザインパートナーの決定、(2) 見積確定、(3) 細かいデザインの詰め、という 3 段階で発注者であるクライアントの発注を校了まで持っていく、さらに、(4) デザイン制作と印刷との連携まで行う。

#### 【0038】

図 4 と図 5 に、デザインパートナーの決定から見積決定まで行い、初稿のデザインの確認をするまでの流れを示す。また、図 6 に、初稿のデザインの確認から印刷までの流れを示す。図 6 に示すフローは、デザインの初稿確認後のデザインの細かい詰め及び印刷との連携である。

#### 【0039】

なお、図 4 のフロー図 5 のフローは、正式発注の際にデザイナーがデザインの制作が可能な程度に詳細な制作物詳細情報をクライアントからデザイナーに渡す点で共通するが、図 4 のフローではデザインパートナー候補の複数のデザイナーに、見積情報とラフ図の制作が可能な程度に詳細な制作物概要情報を渡す一方、図 5 のフローでは選定した 1 のデザイナーに、制作物概要情報を渡す点異なる。なお、制作物詳細情報は、制作物概要情報よりも詳細な情報である。

#### 【0040】

まず、見積依頼に制作物概要情報を含めて、デザインパートナー候補の複数のデザイナーに、見積情報とラフ図の制作が可能な程度に詳細な制作物概要情報を渡し、相見積もりをとってデザインパートナーの選定を行う場合のフローを説明する (図 4)。

#### 【0041】

まず、図 4 を参照して、見積もり依頼のフロー (クライアント→システム→デザインパートナー) について説明する。図 4 において、センタシステム 1 0 は、クライアントデバイス 2 0 u にユーザインターフェイスを提供している状態から始まる。システムは、まず、何を作成するのかをユーザインターフェイスを介してクライアントに選択させる。クライアントはまず「制作物」を選択する (不図示)。

#### 【0042】

すると、システムは、制作物に関連付けられた入力項目を表示するので、クライアントはその入力項目について希望のもので埋めていく (あるいは選択する) (図 4 における S 1 0 1)。入力項目の例としては、タイトル、目的、使用方法、客層、希望納期、等である。さらに、具体的内容の項目としては、サイズ、色、用途、指定方法、希望納期、等である。これらは、作成依頼する作成物によって変わらう。

#### 【0043】

S 1 0 1 においてクライアントが入力を行うユーザインターフェイスを依頼情報入力画面と呼ぶ。図 7 に依頼情報入力画面の例を示す。

#### 【0044】

クライアントがすべての必要項目を埋めて確認を押すと、システムは確認画面 (図 8) が表示し、クライアントがそれに同意するとその作成物に関するデザイン見積もり依頼を受け付ける。見積依頼の内容確認画面の例を図 8 に示す。

#### 【0045】

ここでクライアントが送信する見積依頼には、制作物概要情報であって、制作物のデザインに取りかけられる程度に具体的な、デザインの制作に必要な情報を含む。制作物概要情報は、制作物の要件を定義した情報である。

#### 【0046】

依頼を受け付けたシステムは、受け付けた情報を、所定のデザインパートナーに受け渡す。このとき、デザインパートナーに受け渡す情報は、クライアントの情報、クライアントから受け付けた見積依頼、及びそれに関連付けられた作成物とそれに関連付けられた入力項目に入力された情報である。

#### 【0047】

ここで、デザインパートナーは1とは限らず、色々な条件で複数に絞るなどしても良い。受け渡しとは、情報をメール等で送信しても良いし、デザインパートナー専用画面にその旨を新着として表示する形でも良い。

#### 【0048】

センタシステム10は、内部で、入力に基づき見積依頼を送信するデザインパートナーを選定する処理を行い（S102）、選定したデザインパートナーに入力項目（及び見積依頼）の送信をする（S103）。先述のように、抽出するデザインパートナーは複数であってもよく、この場合複数のデザインパートナーに相見積もりをとる。

#### 【0049】

デザインパートナーは受け渡された情報をもとに、デザイン見積もりを行う。よって、この受け渡される情報はラフ図作成及び見積もりを行うに足る情報である必要がある。そして、それらの情報に基づいてデザインパートナーは自らの技術によりラフ図を作成する（S104～S106）。

#### 【0050】

引き続き図4を参照して、ラフ図・見積結果の送付フロー（デザインパートナー→システム→クライアント）について説明する。図4において、デザインパートナーがシステムに対して作成したラフ図と見積もりを登録すると、センタシステム10がこれを登録する（S107）。

#### 【0051】

ここでデザインパートナーに提供するユーザインターフェイスとしては、ラフ図（JPG等の画像ファイル、もしくはPDF等）を貼り付ける（添付できる）機能と、その説明欄となるテキストボックス、及び見積もり情報（結果）を記入する欄が必要である。見積もり情報（結果）は、例えば納期（工数）、金額、その他必要な何かである。基本的にシステムを介してクライアントに通知するので、現物を送るようなことは考えられていない。

#### 【0052】

システムは、デザインパートナーから受け付けたラフ図及びその付帯情報一式を、クライアントに対して表示するための情報を持つ。クライアントに見せるため、ラフ図と見積もり結果が登録された旨をメールなどで通知して当該ラフ図等の画面に誘導してもよいし、クライアントの個人ページに新着として表示させることも考えられる。添付ファイルとして表示してもよいし、直接画面に表示してクライアントに見せても良い（S108）。

#### 【0053】

なお、複数のデザインパートナーに見積依頼を送付したときは、その専用フローが必要となる。ラフ図の登録までの制限時間を設ける、登録された順に表示、待ってから表示などいろいろバリエーションが考えられる。

#### 【0054】

見積を行ったデザインパートナーには、図9に示すような見積確認画面を表示してもよい。

#### 【0055】

引き続き図4を参照して、クライアントによるラフ図の確認の通知のフロー（クライアント→システム→デザインパートナー）について説明する。図4において、クライアント

10

20

30

40

50

は、登録されて通知された、デザインパートナーが作成したラフ図について内容を確認する（S109）。

【0056】

システムは、見積を返信したデザインパートナーの中からクライアントが1を選ぶことのできるユーザインターフェイスである「選択確認画面」を表示する。表示画面の中に、クライアントによる確認機能を備えるボタンを表示させ、押されると確認処理が完了し、確認された旨がシステムへ送信される。確認ボタンと共にコメント入力欄があっても良い（S110、S111）。図10に、選択確認画面の例を示す。

【0057】

なお、確認は承認機能と連動されてもよく、決済権限を持つ人へ承認依頼をする機能を合わせて備えることができる。また、確認でNGの場合もあるので、了承する場合のボタンと了承しない場合のボタンを設ける必要がある。クライアントが見積に合意しない場合（S111のNo）、再びクライアントに見積依頼を作成させる画面（依頼情報入力画面（図7））に遷移する。

【0058】

了承する場合のボタンがクライアントによって押されると、システムはその旨の情報及びそれに関係付けられたコメント情報を受け付ける（S111のYes）。クライアントが見積に合意した場合、その旨を示す情報である見積合意可否情報がセンタシステム10に送信される。見積合意の通知をクライアントデバイス20uから受信したセンタシステム10は、選択されたデザインパートナーを「合意パートナー」として登録する（S112）。

【0059】

そして、了承したラフ図・見積もりを出したデザインパートナーに対し、了承を得た旨の情報及び制作物詳細情報を送信する。これが正式発注となる（S113）。情報の受け渡しは、電子メールによる直接的な送信、あるいは、システムが用意しているデザインパートナー専用画面に通知して表示する形などが検討される。

【0060】

制作物詳細情報は、S101にてクライアントがシステムを介して選定されたデザインパートナーに渡した制作物概要情報よりも詳細な要件を定義した情報である。

【0061】

引き続き図4を参照して、デザインパートナーによる確認とその後の制作と登録（デザインパートナー→システム→クライアント）について説明する。

【0062】

デザインパートナーは、クライアントにより了承を得た旨の情報をシステムからの通知（あるいはログインしたデザインパートナー専用画面）により確認し、その確認処理（ボタンを押すと確認したフラグが立つ）を行った後（S114）、実際の作成物のデザイン制作にとりかかる（S115）。なお、確認ボタンを推して制作段階に入ると、その旨の情報をシステムが受付けて、クライアントに何らかの形で通知することができる。

【0063】

デザインパートナーは、基本的には出した見積もりにて作業を行うこととなる。デザインパートナーは制作が完了すると、納品物をシステムに登録する（S116）。納品物についてはコメントを付記することができる。システムが表示する項目としては、登録のための機能（添付ファイルとして登録する機能）、及びテキスト入力用のテキストボックスが少なくとも必要である。

【0064】

センタシステム10に初稿にあたるデザイン及びそれに付帯する情報が入力されると、センタシステム10がそれを登録する（S117）。センタシステム10は、登録された旨及び登録されたデザインをクライアントに送信ないし通知する。クライアントはそれを確認する（S118）。このようにして初稿が確認される。

【0065】

10

20

30

40

50

次に、簡単な制作物に関する情報でデザインパートナーの選定を行ったのち制作物概要情報を含む見積依頼を選定したデザインパートナーに送る場合のフローについて説明する（図5）。

#### 【0066】

まず、見積もり依頼のフロー（クライアント→システム→デザインパートナー）について説明する。図5において、センタシステム10は、クライアントデバイス20uにユーザインターフェイスを提供している状態から始まる。システムは、まず、何を作成するかをユーザインターフェイスを介してクライアントに選択させる。クライアントはまず「制作物」を選択する（不図示）。

#### 【0067】

すると、システムは、制作物に関連付けられた入力項目を表示するので、クライアントはその入力項目について希望のもので埋めていく（あるいは選択する）（図5におけるS201）。入力項目の例としては、タイトル、目的、使用方法、客層、希望納期、等である。さらに、具体的内容の項目としては、サイズ、色、用途、指定方法、希望納期、等である。これらは、作成依頼する作成物によって変わりうる。

#### 【0068】

S201においてクライアントが入力を行うユーザインターフェイスを制作物情報入力画面と呼ぶ。図7に制作物情報入力画面の例を示す。

#### 【0069】

制作物情報の入力とともにデザイナーを探す旨の指示を受けたセンタシステム10は、まず、デザインパートナーの候補を選択肢としてユーザに提示するか否か判断する（S202）。1のデザインパートナーのみを選定する場合は、さらに具体的な見積情報の入力を促す画面をユーザに提示する（S202のNo、S205、S206）。

#### 【0070】

一方で、デザインパートナーの候補を選択肢としてクライアントに提示する場合は、クライアントにデザインパートナーの候補を選択肢としてクライアントに提示した後、クライアントによる選択を待って、入力された選択に基づいて1のデザインパートナーを選定し、さらに具体的な見積情報の入力を促す画面をクライアントに提示する（S202のYes、S203～S206）。

#### 【0071】

S206で入力される見積情報は、制作物概要情報であって、制作物のデザインに取りかけられる程度に具体的な、デザインの制作に必要な情報を含む。制作物概要情報は、制作物の要件を定義した情報である。図8に、入力された見積情報の内容確認を行う画面の例を示す。

#### 【0072】

見積情報の入力を受け付けたシステムは、受け付けた情報を、所定のデザインパートナーに受け渡す（S207）。このとき、デザインパートナーに受け渡す情報は、クライアントの情報、クライアントから受け付けた見積依頼、及びそれに関連付けられた作成物とそれに関連付けられた入力項目に入力された情報である。受け渡しの具体的方法としては、情報をメール等で送信しても良いし、デザインパートナー専用画面にその旨を新着として表示する形でも良い。

#### 【0073】

デザインパートナーは受け渡された情報をもとに、デザイン見積もりを行う。よって、この受け渡される情報はラフ図作成及び見積もりを行うに足る情報である必要がある。そして、それらの情報に基づいてデザインパートナーは自らの技術によりラフ図を作成する（S208～S210）。

#### 【0074】

引き続き図5を参照して、ラフ図・見積結果の送付フロー（デザインパートナー→システム→クライアント）について説明する。図5において、デザインパートナーがシステムに対して作成したラフ図と見積もりを登録すると、センタシステム10がこれを登録する

10

20

30

40

50

(S 2 1 1)。

【0075】

ここでデザインパートナーに提供するユーザインターフェイスとしては、ラフ図(JPG等の画像ファイル、もしくはPDF等)を貼り付ける(添付できる)機能と、その説明欄となるテキストボックス、及び見積もり情報(結果)を記入する欄が必要である。見積もり情報(結果)は、例えば納期(工数)、金額、その他必要な何かである。基本的にシステムを介してクライアントに通知するので、現物を送るようなことは考えられていない。

【0076】

システムは、デザインパートナーから受け付けたラフ図及びその付帯情報一式を、クライアントに対して表示するための情報を持つ。クライアントに見せるため、ラフ図と見積もり結果が登録された旨をメールなどで通知して当該ラフ図等の画面に誘導してもよいし、クライアントの個人ページに新着として表示させることも考えられる。添付ファイルとして表示してもよいし、直接画面に表示してクライアントに見せても良い(S 2 1 2)。

【0077】

なお、複数のデザインパートナーに見積依頼を送付したときは、その専用フローが必要となる。ラフ図の登録までの制限時間を設ける、登録された順に表示、待ってから表示などいろいろバリエーションが考えられる。

【0078】

見積を行ったデザインパートナーには、図9に示すような見積確認画面を表示してもよい。

【0079】

引き続き図5を参照して、クライアントによるラフ図の確認の通知のフロー(クライアント→システム→デザインパートナー)について説明する。図5において、クライアントは、登録されて通知された、デザインパートナーが作成したラフ図について内容を確認する(S 2 1 3)。

【0080】

システムは、見積を返信したデザインパートナーの中からクライアントが1を選ぶことのできるユーザインターフェイスである「選択確認画面」を表示する。表示画面の中に、ユーザによる確認機能を備えるボタンを表示させ、押されると確認処理が完了し、確認された旨がシステムへ送信される。確認ボタンと共にコメント入力欄があっても良い(S 2 1 4、S 2 1 5)。図10に、選択確認画面の例を示す。

【0081】

なお、確認は承認機能と連動されてもよく、決済権限を持つ人へ承認依頼をする機能を合わせて備えることができる。また、確認でNGの場合もあるので、了承する場合のボタンと了承しない場合のボタンを設ける必要がある。クライアントが見積に合意しない場合(S 2 1 5のNo)、再びクライアントにデザインパートナーを探させる画面(制作物情報入力画面(図7))に遷移する。

【0082】

了承する場合のボタンがクライアントによって押されると、システムはその旨の情報及びそれに関係付けられたコメント情報を受け付ける(S 2 1 5のYes)。クライアントが見積に合意した場合、その旨を示す情報である見積合意可否情報がセンタシステム10に送信される。見積合意の通知をクライアントデバイス20uから受信したセンタシステム10は、選択されたデザインパートナーを「合意パートナー」として登録する(S 2 1 6)。

【0083】

そして、了承したラフ図・見積もりを出したデザインパートナーに対し、了承を得た旨の情報及び制作物詳細情報を送信する。これが正式発注となる(S 2 1 7)。情報の受け渡しは、電子メールによる直接的な送信、あるいは、システムが用意しているデザインパートナー専用画面に通知して表示する形などが検討される。

10

20

30

40

50

## 【0084】

制作物詳細情報は、S206にてクライアントがシステムを介して選定されたデザインパートナーに渡した制作物概要情報よりも詳細な要件を定義した情報である。

## 【0085】

引き続き図5を参照して、デザインパートナーによる確認とその後の制作と登録（デザインパートナー→システム→クライアント）について説明する。

## 【0086】

デザインパートナーは、クライアントにより了承を得た旨の情報をシステムからの通知（あるいはログインしたデザインパートナー専用画面）により確認し、その確認処理（ボタンを押すと確認したフラグが立つ）を行った後（S218）、実際の作成物のデザイン制作にとりかかる（S119）。なお、確認ボタンを推して制作段階に入ると、その旨の情報をシステムが受付けて、クライアントに何らかの形で通知することができる。

10

## 【0087】

デザインパートナーは、基本的には出した見積もりにて作業を行うこととなる。デザインパートナーは制作が完了すると、納品物をシステムに登録する（S220）。納品物についてはコメントを付記することができる。システムが表示する項目としては、登録のための機能（添付ファイルとして登録する機能）、及びテキスト入力用のテキストボックスが少なくとも必要である。

## 【0088】

センタシステム10に初稿にあたるデザイン及びそれに付帯する情報が入力されると、センタシステム10がそれを登録する（S221）。センタシステム10は、登録された旨及び登録されたデザインをクライアントに送信ないし通知する。クライアントはそれを確認する（S222）。このようにして初稿が確認される。

20

## 【0089】

次に、初稿確認後の細かいデザインの詰めについて、図6を参照しながら説明する。なお、図6において、デザインの確認（S301）のステップは、図4におけるS118又は図5におけるS222と同一のステップである。

## 【0090】

デザイン確認後のクライアントは、修正がある場合（S302のYes）、修正指示を行うか否かを決定させるためのユーザインターフェイス画面が表示されるのでそれに従って修正指示を行うか否かを決定する（S303）。

30

## 【0091】

修正指示を行う場合、クライアントは、ユーザインターフェイス画面に修正指示を入力する。その結果、センタシステム10に修正コメントが送信されるため、センタシステム10は修正コメントを受け付けてデザインパートナーに送信する（S304）。デザインパートナーはデザインを修正した後、修正したデザインを登録する（S305）。修正されたデザインは、クライアントにより再び確認されるところとなる（S301）。

## 【0092】

修正指示を行わない場合、クライアントは、オンライン会議を開始する選択肢が与えられる（S306）。オンライン会議を開始する場合（S306のYes）、その旨がセンタシステム10に入力・送信される。受信したセンタシステム10は、オンライン会議の参加依頼をデザインパートナーに送信し、オンライン会議を開始する（S307）。

40

## 【0093】

見積までの処理、初稿の作成、デザイン修正処理（S305）がいずれも非同期の処理（クライアントとデザインパートナーが同時に行う必要のある作業ではない）であるのに対し、オンライン会議は、同期処理である。オンライン会議を「リアルタイム・コミュニケーション」とも呼ぶ。図11に、リアルタイム・コミュニケーション・サポート画面の例を示す。

## 【0094】

図11に示すようなリアルタイムのやりとりを経て、同期的に修正依頼及びデザイン修

50

正を行い、校了に至る（S 3 0 9）。

【0 0 9 5】

なお、初稿又は非同期的なデザイン修正（S 3 0 5）によって修正がないと判断された場合も（S 3 0 2のN o）、それで校了となる（S 3 1 1）。

【0 0 9 6】

以下、印刷との連携について引き続き図 6 を参照しながら説明する。校了後、デザイン情報に係る電子データは、図 3 を参照して説明したところの「M Y B O X」に格納される。デザインを発注したクライアントに割り当てられた印刷データベース 1 6 内の記憶領域に、当該クライアント専用のM Y B O Xである。

【0 0 9 7】

デザインパートナーが校了済みのデザイン情報に係る電子データ（原稿）をM Y B O Xにアップロード（登録）する（S 3 1 2）。アップロードの際には、デザイン制作の終了報告の情報もアップロードする電子データに付帯させてセンタシステム 1 0 に送信する。なお、アップロードは、クライアントが行ってもよい。

【0 0 9 8】

センタシステム 1 0 は、アップロードとデザイン制作の終了報告を確認し、履歴を確認する（S 3 1 3）。そして、登録された原稿の印刷に関する受注を受け付ける。受注情報を確認すると（S 3 1 4）、印刷可否確認をクライアントに対して行う（S 3 1 5）。印刷可否確認は、クライアントの利用するクライアントデバイス 2 0 u のユーザインターフェイスに印刷可否をクライアントに問いかけるプロンプトを表示させるなどの具体的方法がある。

【0 0 9 9】

クライアントが印刷を確認すると（S 3 1 6のY e s）、M Y B O Xからの印刷の注文手続を行う（S 3 1 7）。印刷注文には、印刷出力を行う印刷パートナーを特定するための情報が含まれる。センタシステム 1 0 は、この印刷パートナーを特定するための情報に基づいて該当する印刷パートナーへ印刷注文を送信する。他方、印刷パートナーでは印刷注文を受け付ける（S 3 1 8）。

【0 1 0 0】

印刷注文を受けた印刷パートナーは、印刷を行い配送も行うが、具体的には、印刷システム 2 1 に、M Y B O Xに記憶されている校了済みのデザイン情報に係る電子データをダウンロードし、当該電子データに基づいて印刷出力を行う。

【0 1 0 1】

印刷物はクライアントの顧客に配送される（クライアント自身に配送してももちろんよい）（S 3 2 0）。このようにして、クライアントは、クライアントとデザイナーとが段階的に合意を形成しながらクライアントが納得のいくデザインの印刷物を得ることができる。

【0 1 0 2】

本実施形態によれば、印刷出力を所望するクライアントに対して、センタシステム 1 0 が適切なデザインパートナーを選定する。次に、当該デザインパートナーに見積依頼する。次に、センタシステム 1 0 は、当該デザインパートナーが返信した見積に対してクライアントが合意したか否かを表す情報である見積合意可否情報を受け付ける。そして、見積合意可否情報に基づき合意を確定させる。さらに、見積合意後も必要な場合にオンライン会議を行って同期的にデザインの修正作業を行う。

【0 1 0 3】

さらに、デザイン情報をセンタシステム 1 0 側で保有しておき、印刷出力の指示がクライアントからあったときには印刷システムからのダウンロード要求に応じてデザイン情報に係る電子データをダウンロードさせる。

【0 1 0 4】

したがって、本実施形態によるクライアントとデザイナーの仲介をするセンタシステム 1 0 によれば、クライアントとデザイナーとが段階的に合意を形成しながらクライアントが納

10

20

30

40

50

得のいくデザインの印刷物を得ることが可能である。

【0105】

なお、クライアントデバイス20uには、クライアント向けのユーザインターフェイスを表示するクライアントアプリケーションがインストールされている。一方で、クライアントデバイス20a, b, cには、デザインパートナー向けのユーザインターフェイスを表示するクライアントアプリケーションがインストールされている。ただし、クラウドプリンティングシステム100のユーザインターフェイスをウェブアプリケーションとして構成した場合はこの限りではない。

【符号の説明】

【0106】

- 10 センタシステム
- 11 基盤システム
- 11a デザインパートナー選定手段
- 11b 合意確定支援手段
- 11c デザイン修正手段
- 11d 見積処理手段
- 12 ユーザ連携機能
- 13 デザイン連携機能
- 14 ユーザデータベース
- 15 デザイナデータベース
- 16 印刷データベース
- 20 クライアントデバイス
- 21 印刷システム

【先行技術文献】

【特許文献】

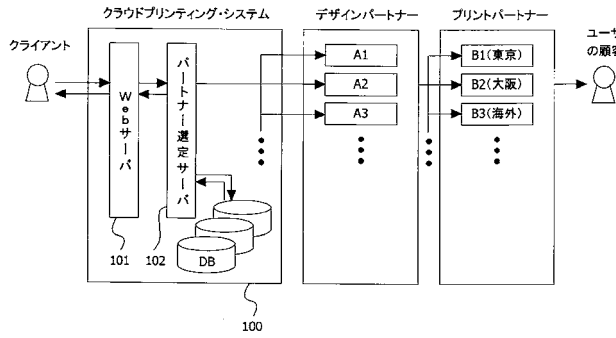
【0107】

【特許文献1】特開2002-150033号公報

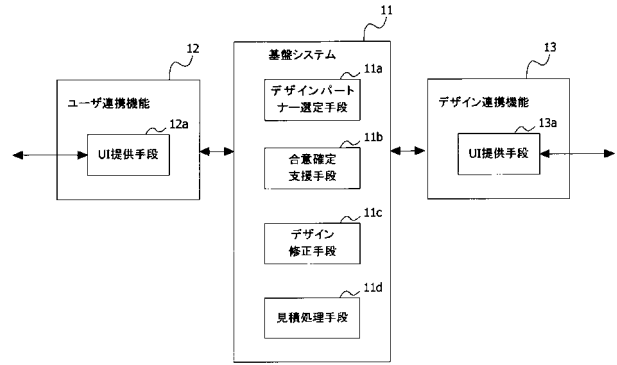
10

20

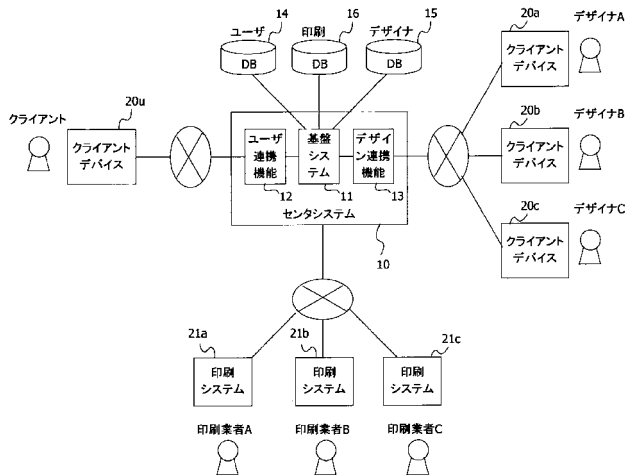
【図 1】



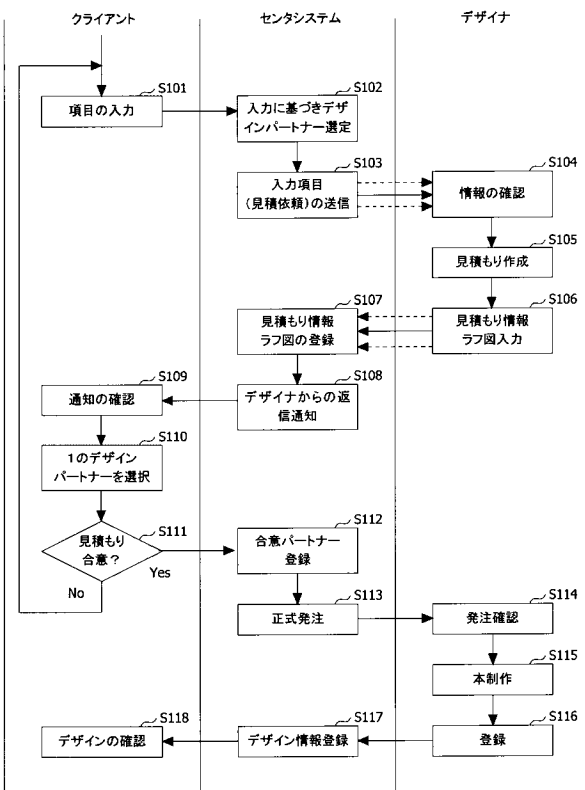
【図 3】



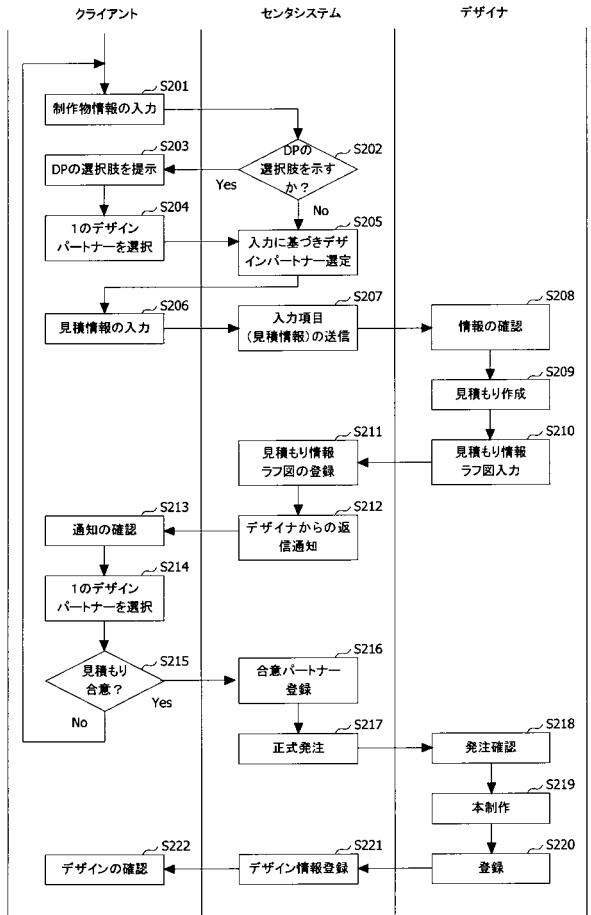
【図 2】



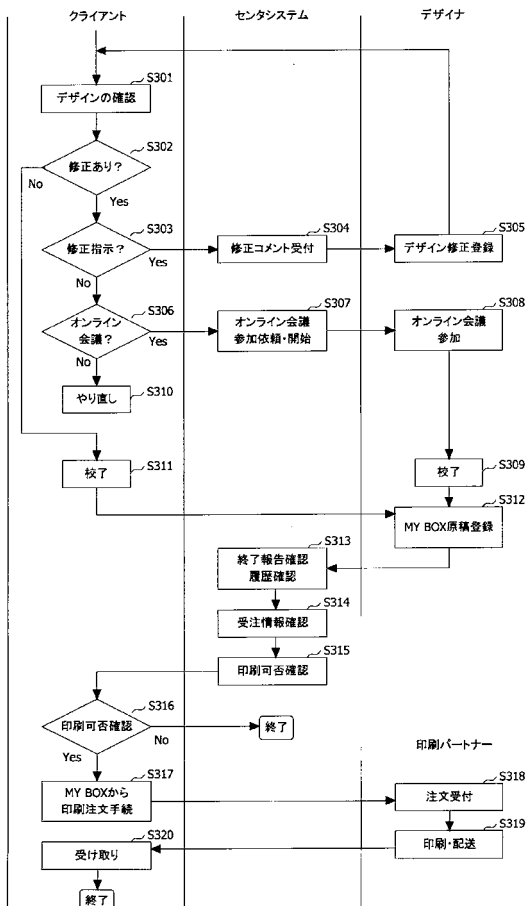
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

依頼情報入力画面(又は制作物情報入力画面)

目的:

出力物:

必要数量:

添付ファイル:

予算:  ~

納期:

こだわり: ☐ スピード ☐ 実績豊富

【図 8】

見積依頼の内容確認画面

☐ ○○デザイン株式会社

納期:

納品方法: ☐ メール ☒ FTP ☒ 郵送

依頼ファイル形式: ☒ fileformat1 ☒ fileformat2

納品ファイル形式: ☒ fileformat1 ☐ fileformat2

ロゴのトレース要否: ☐ はい ☒ いいえ

可変部はあるか?: ☐ はい ☒ いいえ

【図 9】

見積確認画面

現在のステータス:

☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐

見積もり承認待ち

見積金額:

見積内容: デザインパートナー名: ○○デザイン  
納品方法: メール  
納品ファイル形式: fileformat1  
...

【図 10】

選択結果確認画面

☐ ○○デザイン株式会社

コメント:

最寄価格帯: ¥5,000 ~ ¥100,000

納品形式: fileformat1, fileformat2

☐ ××デザイン株式会社

コメント:

最寄価格帯: ¥5,000 ~ ¥100,000

納品形式: fileformat1, fileformat2

☐ △△デザイン株式会社

コメント:

【図 1 1】

リアルタイム・コミュニケーション・サポート画面

会議名: ○×マニュアルのデザインについて

| コミュニケーション | プロジェクト | 履歴 |
|-----------|--------|----|
|           |        |    |

時間: 2012/1/17 15:00- 35 分経過

参加者:  Aさん  Bさん

現在のステータス:      

見稿済み 承認確認中 校了

記録: ☒ 音声 ☒ 映像

 ここにコメントもしくはファイルをドロップ

 ラフ図を作成しました。  
ご確認下さい。  
添付ファイル: 表紙イメージラフ.ppt

 ○×マニュアル  
コメント

 ラフ図を確認しました。  
もう少し淡い色になりませんか？  
また右下のコメントは削除して下さい

 ○×マニュアル  
コメント